

島根県保健環境科学研究所報

第 61 号
令和 元年

Report of
the Shimane Prefectural Institute of
Public Health and Environmental Science

No.61
2019

島根県保健環境科学研究所

はじめに

当研究所は、県民の公衆衛生向上と環境生活の保全を図るため、保健、環境、健康福祉情報に関する科学的・技術的な中核機関として、「調査研究」「試験検査」「情報の収集・解析・提供」「研修指導」に取り組んでいます。

特に保健分野では、新型コロナウイルスの国内蔓延により、感染症による健康危機が大きくクローズアップされ、人々の行動自粛にまで及ぶ社会的最重要課題となっています。

当所は、新型コロナウイルスのリアルタイムPCR検査ができる県内唯一の行政機関として、県民の方々に健康被害ができるだけ及ばないよう積極的疫学調査の基盤となる安全かつ適正な検査の持続的実施に努めています。

また、感染症発生動向調査に基づく情報収集と還元、感染症や食中毒の病原体の探索などを通じ、迅速な感染傾向の把握や情報提供、再発防止対策の一端を担っています。さらに、ヒトと動物の健康課題を一体として扱うワンヘルスの取り組みとして、近年県内で増加傾向にあるSFTS（重症熱性血小板減少症候群）や日本脳炎をはじめとするダニや蚊が媒介する疾患、薬剤耐性菌などの調査・研究を進め、国内外で起こりうる新興・再興感染症に対応すべく、備えています。

環境分野では、自然環境の顕著な変化が散見されることから、宍道湖・中海における汚濁メカニズムや水草の大量繁茂などの要因解明、公共用水域における水質の常時監視、PM2.5や光化学オキシダントなどの大気汚染物質の監視や成分分析、高濃度事象についての要因分析などに取り組んでいます。

健康福祉情報分野では、県や市町村の各種計画策定の支援、施策の評価など情報分析機関としての役割を果たすべく、SHIDS（島根県健康指標モニタリングシステム）の運用など、人口動態統計や保健・医療、介護・福祉分野の情報収集・解析・提供に取り組んでいます。また、地域包括ケア推進のため、各々の地域における健康づくりや介護予防の課題や各種取り組みの評価などの見える化を進め、医療専門職の技術研修などを通じて、県や市町村の人材育成にも力を入れています。

このように、各分野において、当研究所に課せられた責務を果たしつつ、県民の健康や生活環境改善に向けた取り組みが一步先に進むよう、科学的・技術的な中核機関としての機能を発揮できるよう、日々努めてまいります。

本報告書は、当研究所の活動の成果に関し、令和元年度の実績をまとめたものです。

是非ご一読いただきご意見・ご提言をお寄せいただくとともに、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 3 年 3 月

島根県保健環境科学研究所長
近 藤 一 幸

目 次

1. 沿 革	1
2. 施 設	1
2. 1 位 置	1
2. 2 敷地と建物	1
2. 3 部門別内訳	2
3. 機 構	3
3. 1 組織と分掌	3
3. 2 配置人員	3
3. 3 業務分担	4
3. 4 人事記録	4
4. 決 算	5
4. 1 令和元(平成 31)年度歳入	5
4. 2 令和元(平成 31)年度歳出	5
5. 新規購入備品	7
5. 1 機 器	7
5. 2 図書(備品)	7
5. 3 学 術 雑 誌	7
6. 行 事	8
6. 1 学会・研究会	8
6. 2 研 修 会	9
6. 3 所 内 関 係	10
7. 検 査 件 数	11
8. 発 表 業 績	13
8. 1 誌上発表	13
8. 2 学会・研究会発表	13
8. 3 令和元年度集談会	15
8. 4 保環研だより	15

9. 業務及び調査研究報告	17
9. 1 総務企画課	18
9. 2 調査研究の企画調整	19
9. 3 検査等の事務の管理	21
9. 4 感染症情報センター	22
9. 5 健康福祉情報課	23
[学会・研究会発表抄録]	
島根県における脳卒中発症者の状況について～健康寿命延伸を目指して～	27
9. 6 細菌科	28
[資料]	
島根県で分離された <i>Salmonella</i> の血清型と年度別推移 (2019 年度)	30
島根県における結核菌の Variable-Number of Tandem-Repeats (VNTR) の試験結果 (2019 年度)	33
島根県におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) の試験結果 (2019 年度)	35
[学会・研究会発表抄録]	
島根県におけるネコ科及び野生生物の <i>Corynebacterium ulcerans</i> 保菌調査	37
同一由来株でベロ毒素産生能の異なる腸管出血性大腸菌 O157 が分離された 集団感染事例	37
腸管出血性大腸菌 O157 の IS629 プロファイルデータに基づく系統樹解析と Stx2 産生力価の比較	38
IS629 分布データの系統樹解析に基づくクラスター間の病原性評価と STEC O157 の Clade 分類	39
島根県内で地域的に流行する CTX-M-27 産生大腸菌 Og6;ST73 の解析	40
9. 7 ウイルス科	41
[資料]	
インフルエンザ様疾患の流行状況 (2019/2020 年)	43
島根県におけるブタの日本脳炎ウイルス H I 抗体保有状況及び日本脳炎患者の 発生状況 (2019 年)	48
[学会・研究会発表抄録]	
島根県内のアライグマにおける SFTS ウイルス保有調査	49
野生動物やペット動物のウイルス性病原体の保有状況や感染経路について	49
9. 8 大気環境科	50
[資料]	
島根県における PM2.5 濃度の経年変動 (2014～2019 年度)	52
島根県における光化学オキシダント高濃度事象 (2019 年度)	63
島根県における光化学オキシダント生成に関する VOC 濃度の挙動 (2019 年度)	66
[学会・研究会発表抄録]	
島根県における光化学オキシダント濃度 8 時間値の日最高値の年間 99 パーセント タイル値について	68
島根県における光化学オキシダントの経年変動	68
通年観測データからみた島根県における PM2.5 濃度の推移	69
島根県における高濃度 PM2.5 出現時の気象状況について	69
隠岐及び松江における PM2.5 濃度の推移	70

9. 9 水環境科 71

[資料]

宍道湖・中海水質調査結果（2019年度） 72
宍道湖・中海の植物プランクトン調査結果（2019年度） 79

[学会・研究会発表抄録]

島根県内の廃棄物最終処分場の安定化に関する調査研究 95
空中ドローンを用いた宍道湖における水草等の繁茂状況調査 95
宍道湖の水草・藻類問題 96
近年宍道湖で発生したアオコについて 96
汽水湖中海における夏季の亜硝酸蓄積に関する研究 96
ダム湖表層におけるヒドロキシルアミンの生成に関する研究 97
空中ドローンを用いた宍道湖における水草等の繁茂状況調査 97
ダム湖の表水層におけるNH₂OHの生成起源に関する研究 98
宍道湖のアオコ発生予測 98
2017年に宍道湖で出現した *Aphanizomenon* 属の形態と増殖条件の検討 98